

十日町市鉢「語らいの家」 雪国くらし、尾身家展

雪深い十日町市鉢集落で75歳まで暮らした尾身ミノさん(91)が集めていた民具、家族の生活用具や古文書資料を同集落「語らいの家」で展示会「雪国の家ファイナル展」が始まっている。

05年(平成17年)まで尾身ミノさんが実際に暮らした家。ミノさんは自分で資料館開設をめざしたが病で倒れる。その意思を引き継いだ有志が整備し2009年にオープン。「ここにはミノさんの思いがたくさん詰まっ

ているんです。他の場所での展示も考えましたが、やはりこの家で展示することに意味があると思います」と主催者の門脇洋子さん。

木挽き職人で仕事中に不慮の事故で亡くなった夫の衣類や仕事道具、またミノさんが嫁入り時に父親が作った化粧台やタンスなども展示。「出来ればこの場所です」と展示して行きたいです。け

どそれは叶わず、今回ここの最後の展示会をきちんとした形でやりたかった。新潟市の施設で暮らす、ミノさんに思いが届けば嬉しい」と語った。

同家は老朽化が進み、改築が必要だが資金調達は難しい。家の所有者である、ミノさんの長女・尾身ひろみさんは、空き家バンクへの登録を申請する予定だ。

展示は7日まで。場所



「語らいの家ファイナル」展は7日まで開催(3日)

は十日町市真田甲222 12-9685(門脇さん)。
6・1。TEL090・23